

2023年版 環境経営レポート



発行年月日 2024年 6月 1日

松 田 建 設 有 限 会 社

目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境管理組織体制
5. 環境経営活動への取組の全体概要
6. 環境経営目標
7. 環境経営計画
8. 環境経営目標の実績
9. 環境経営計画の取組結果とその評価
10. 次年度の取組内容
 - (1) 環境経営計画
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
12. 代表者による全体評価と見直し・指示
13. その他の取組

発行日： 2024年 6月 1日
発行責任者：環境管理責任者 松田 将臣

次回発行予定： 2024年 6月 頃

1. 組織の概要

【事業所名】 松田建設有限会社

【代表者氏名】 代表取締役 松田 修一

【所在地】

本社 高知県幡多郡大月町弘見2337-4

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名	取締役	松田 将臣
連絡先担当者	事務	松田 真由子
連絡先	TEL:	0880-73-0088
	FAX:	0880-73-0088
	E-mail:	matudakensetu@tuba.ocn.ne.jp

建設業許可

許可番号 (特・般-2) 第9003号

許可年月日 令和2年7月31日

建設業の種類 (土木工事業、建築工事、とび、土工工事・解体工事業)

【事業規模】

設立年月日 平成18年9月8日

資本金 2000万円

	2021年度	2022年度	2023年度
工事件数 (件)	33	33	23
売上高 (百万円)	213	320	342
従業員数 (名)	12	12	12
事業所敷地面積 (m2)	817.0	817.0	817.0
事業所延べ床面積 (m2)	43.5	43.5	43.5

従業員数は、4月30日現在

会計年度 5月 ~ 4月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

松田 建設有限会社 全社

本社 高知県幡多郡大月町弘見2337-4 (常駐者：12人)

対象事業：

【レポートの対象期間】

2023年5月～2024年4月

【環境経営レポートの発行日】

2024年6月1日

【作成責任者】

環境管理責任者 取締役 松田 将臣

対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs NO.	項目	当社対象有無	備 考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を	○	高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに	○	環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に	○	水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	○	再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も	○	高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基礎をつくろう		低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう	○	高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2 削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2 削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう	○	下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさを守ろう	○	緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に		寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育

3. 環境経営方針

【環境経営理念】

松田建設有限会社は、大月町の自然環境を守り、地球温暖化防止による維持可能な社会構築に向けて、建設工事におけるあらゆる場面において、環境保全を意識し、環境負荷低減に努め、継続的改善による環境経営を推進してゆきます。

【基本方針】

1. 建設・土木工事において、環境に考慮し県内産の木材を使用し、資材調達・施工・廃棄物処理の各段階において、環境に配慮した施工を行います。
2. 事業活動におけるトラック・重機の燃料使用量削減により、二酸化炭素排出量削減を行います。
3. 事務所・倉庫・現場における電力使用量の削減により、二酸化炭素排出量を削減します。
4. 建設工事及び事務所における廃棄物発生量の削減及びリサイクルを行います。
5. 事務所・倉庫・現場における水使用量削減により、排水量削減を行います。
6. 事務用品及び調達資源のグリーン購入を積極的に推進します。
7. 環境関連法規及び条例を遵守します。
8. 環境経営方針はすべての従業員に周知して指導していきます。
9. 環境経営レポート等環境情報について広く外部公表致します。
10. ボランティア活動・社会的貢献活動に積極的に参加し、地域のイベント等に協力します。

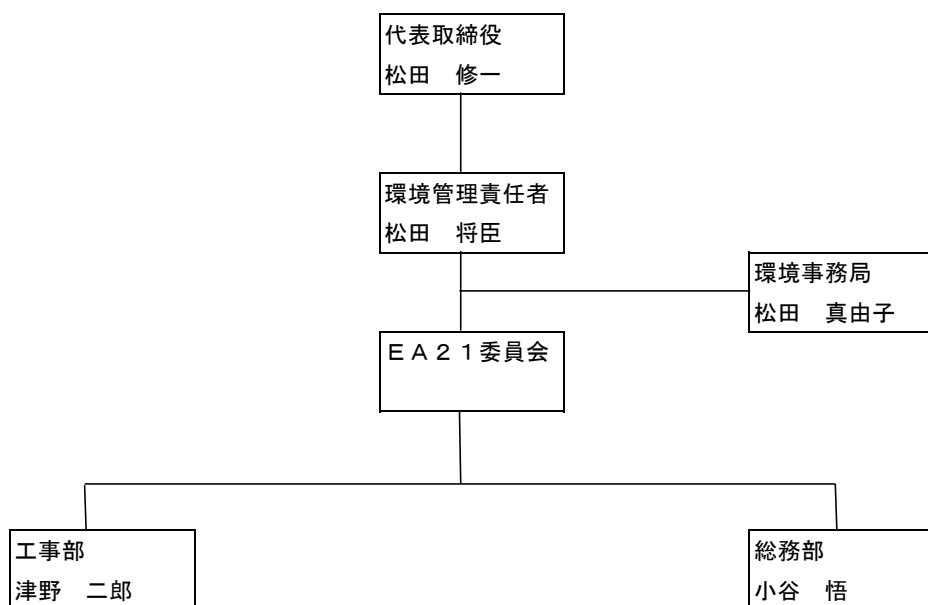
2018年10月11日

発行責任者 松田建設有限会社
代表取締役

松田 修一



4. 環境管理組織体制



環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認 ・ 代表者による全体評価と見直し実施 ・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築、実施、管理 ・ 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・ 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境経営レポートの確認
環境事務局	・ 環境管理責任者の補佐、E A 2 1 委員会の事務局 ・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・ 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成 ・ 環境活動の実績集計 ・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・ 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・ 環境経営レポートの作成、公開
部門長	・ 自部門における環境方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 ・ 自部門に関係する環境経営計画の実施、達成状況報告 ・ 自部門に関係する緊急事態訓練の実施 ・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	・ 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・ 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション21ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

<全体概況>

- 燃料使用量の削減については、全車両にアイドリングストップ宣言のステッカーを貼り取組みました。
- 電力使用量の削減については、電気使用量を毎月チェックしながら節電に心がけました。
- 環境美化活動についても、本年度は、ロードボランティア活動（10回）、近隣の清掃活動（5回）実施しております。



<松田建設有限会社の物質フロー>（2023年度）



6. 環境経営目標 (2023年度)

(1) 単年度目標 (2023年度目標の場合)

項目	総量・原単位	単位	基準年 2019年度 2019.5-2020.4	2023年度 目標 2023.5-2024.4	基準年に対して
売上高		百万円	225	240	(削減率)
燃料使用量					
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	5,459.8	4,367.8	20(%)
	原単位	(ℓ/百万円)	24.3	18.2	
軽油使用量	総量	(ℓ)	42,250.7	33,800.6	20(%)
	原単位	(ℓ/百万円)	187.8	140.8	
電力使用量	総量	(kWh)	2,204.0	1,939.5	12(%)
	原単位	(kWh/百万円)	9.8	8.1	
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	121,674.6	107,073.6	12(%)
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	540.8	446.1	
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	336.0	268.8	20(%)
	原単位	(kg/百万円)	1.5	1.1	
産業廃棄物排出量	総量	(t)	548.6	438.9	20(%)
	原単位	(t/百万円)	2.4	1.8	
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100	
グリーン購入	総量	(%)	90	90	
環境負荷の少ない工事	総量	(件)	30件/30件	全件	
環境美化活動	総量	(回)	5	5	

- * 1. 購入電力のCO₂排出係数は平成30年12月27日公表のイーレックス・スパーク・マーケティング㈱の調節後排出係数0.460 (Kg-CO₂/kwh) を使用した。
- * 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合 (%)
- * 3. 環境負荷の少ない工事
- 環境負荷の少ない材料 (リサイクル材、県産品等) の使用
 - 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
 - 型枠、工事看板への間伐材の使用
 - 濁水防止対策の実施

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2019年度 実績 (基準年)	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標
売上高		百万円	225	235	240	245
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	5,459.8	4,640.8	4,367.8	4,094.9
	原単位	(ℓ/百万円)	24.3	19.7	18.2	16.7
軽油使用量	総量	(ℓ)	42,250.7	35,913.1	33,800.6	31,688.0
	原単位	(ℓ/百万円)	187.8	152.8	140.8	129.3
電力使用量	総量	(kWh)	2,204.0	2,005.6	1,939.5	1,873.4
	原単位	(kWh/百万円)	9.8	8.5	8.1	7.6
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	121,674.6	110,723.9	107,073.6	103,423.4
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	540.8	471.2	446.1	422.1
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	336.0	285.6	268.8	252.0
	原単位	(kg/百万円)	1.5	1.2	1.1	1.0
産業廃棄物排出量	総量	(t)	548.6	466.3	438.9	411.5
	原単位	(t/百万円)	2.4	2.0	1.8	1.7
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100	100	100
グリーン購入	総量	(%)	90	90	90	90
環境負荷の少ない工事	総量	(件)	30件/30件	全件	全件	全件
環境美化活動	総量	(回)	4	5	10	10

7. 環境経営計画

期間： 2023年 5月 ～ 2024年 4月

	活動内容	担当者	期間
燃料使用量 削減	○急発進・急加速はしない。	松田 将臣	2024年4月30日
	○現場への移動は相乗りで、最短ルートを選択する。	松田 将臣	2024年4月30日
	○資材等の忘れ物はしない。	松田 将臣	2024年4月30日
	○車両・重機等の定期的な検査をする。	松田 将臣	2024年4月30日
電力使用量 削減	○不要な電力は使用しない。	松田 真由子	2024年4月30日
	○機器更新の際には省エネ商品を採用する。	松田 真由子	2024年4月30日
	○エアコンの温度設定、夏場28℃・冬場20℃の設定に徹底する。	松田 真由子	2024年4月30日
	○機器等のつけっぱなし禁止。	松田 真由子	2024年4月30日
一般廃棄物	○飲料水等は水筒かMYペットボトルを使用する。	松田 真由子	2024年4月30日
	○社内用書類等のコピー用紙の裏紙使用の徹底。	松田 真由子	2024年4月30日
	○消耗品等不必要な購入を避ける。	松田 真由子	2024年4月30日
産業廃棄物	○マニフレスト管理を徹底し、産業廃棄物を分別する。	松田 将臣	2024年4月30日
	○排出量の抑制と適正処理及びリサイクル促進。	松田 将臣	2024年4月30日
グリーン購入	○事務用品・資材購入時のエコ製品選定。	松田 真由子	2024年4月30日
	○家電製品・車両重機購入時のエコ製品選定。	松田 真由子	2024年4月30日
環境負荷の少ない工事	○工期短縮に心掛ける。	松田 将臣	2024年4月30日
	○工事現場周辺の生態系維持。	松田 将臣	2024年4月30日
	○低騒音・排出ガス対策重機使用。	松田 将臣	2024年4月30日
環境美化活動	○ロードボランティアの実施回数を増やす。	松田 将臣	2024年4月30日

環境経営目標の実績

(1) 本年度実績

項目	総量・原単位	単位	基準年 2019年度 2019.5-2020.4	2023年度 目標 2023.5-2024.4	2023年度 実績 2023.5-2024.4	実績値／目標値 (%)	評価
売上高		百万円	225	240	342		
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	5,459.8	4,367.8	7,280.7	166.7	×
	原単位	(ℓ/百万円)	24.3	18.2	21.3	117.0	
軽油使用量	総量	(ℓ)	42,250.7	33,800.6	46,310.2	137.0	×
	原単位	(ℓ/百万円)	187.8	140.8	135.4	96.1	
電力使用量	総量	(kWh)	2,204.0	1,939.5	3,848.0	198.4	×
	原単位	(kWh/百万円)	9.8	8.1	11.3	139.2	
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	121,674.6	107,073.6	138,141.5	129.0	×
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	540.8	446.1	403.9	90.5	
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	336.0	268.8	29.0	10.8	○
	原単位	(kg/百万円)	1.5	1.1	0.1	7.6	
産業廃棄物排出量	総量	(t)	548.6	438.9	427.7	97.5	○
	原単位	(t/百万円)	2.4	1.8	1.3	68.4	
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	○
グリーン購入量	総量	(%)	90.0	90.0	90.0	100.0	○
環境負荷の少ない工事	総量	(件)	30件/30件	全件	23件/23件	100%	○
環境美化活動	総量	(回)	5	10	10	10	○

- * 1. 購入電力比CO₂排出係数は平成30年12月27日公表のイーレックス・スパーク・マーケティング㈱の調整後排出係数0.460 (kg-CO₂/kWh) を使用した。
- * 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合 (%)
- * 3. 環境負荷の少ない工事
- 環境負荷の少ない材料 (リサイクル材、県産品等) の使用
 - 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
 - 型枠、工事看板への間伐材の使用
 - 濁水防止対策の実施
- * 4. 評価は、「○」、「△」、「×」で評価する。

<環境経営目標未達成等理由>

ガソリン使用量 ため池総合整備堤体改修工事等での残土運搬に使用量が増えた為達成できず。

電力使用量 電子系モニター・ラミネート機器使用量が増えた為。

CO2排出量 電力、ガソリン共に使用量が増加した為。

<過去の実績>

項目	総量・原単位	単位	2019年度 実績 (基準年)	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績
売上高		百万円	225	235	213	320	342
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	5,459.8	5,079.8	5,279.69	6,019.90	7,280.70
	原単位	(ℓ/百万円)	24.3	21.6	24.8	18.8	21.3
軽油使用量	総量	(ℓ)	42,250.7	36,032.3	33,756.4	39,373.9	46,310.2
	原単位	(ℓ/百万円)	187.8	153.3	158.5	123.0	135.4
電力使用量	総量	(kWh)	2,204.0	3,230.0	3,471.0	4,059.0	3,848.0
	原単位	(kWh/百万円)	9.8	13.7	16.3	12.7	11.3
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	122,687.4	106,234.3	100,937.0	117,418.0	138,141.5
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	545.3	452.1	473.9	366.9	403.9
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	336.0	175.0	178	109	29.0
	原単位	(kg/百万円)	1.5	0.7	0.8	0.3	0.1
産業廃棄物排出量	総量	(t)	548.6	1,465.3	565.58	716.6	427.7
	原単位	(t/百万円)	2.4	6.2	2.7	2.2	1.3
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100.0	100	100	100
グリーン購入	総量	(%)	90	90.0	90	90	90
環境負荷の少ない工事	総量	(件)	30件/30件	27件/27件	33件/33件	33件/33件	23件/23件
環境美化活動	総量	(回)	5	5	4	5	10

9. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間： 2023年 5月 ～ 2024年 4月

項目		活動内容	取組結果	評価	見直し
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	○急発進・急加速はしない。	車両等にステッカーを貼って警告しました。	○	継続的に実施する
		○現場への移動は相乗りで、最短ルートを選択する。	現場への相乗りは徹底して実施できました。	○	継続的に実施する
		○資材等の忘れ物はしない。	現場に行く際には2人以上でチェックできました。	△	継続的に実施する
		○車両・重機等の定期的な検査をする。	ステッカーを貼り全従業員に告知しました。	○	今後も実施する
	電力使用量 削減	○不要な電力は使用しない。	日中の天気の良いときには電気を使用しないようにしました。	○	社内全員に掲示し実行する
		○機器更新の際には省エネ商品を採用する。	徹底して実施できました。	○	継続的に実施する
		○エアコンの温度設定、夏場28℃・冬場20℃の設定に徹底する。	気温に応じて服装を調整し実施できました。	○	継続的に実施する
		○機器等のつけっぱなし禁止。	徹底して実施できました。	○	継続的に実施する
廃棄物削減	一般廃棄物	○飲料水等は水筒かMYペットボトルを使用する。	空き缶等持ち帰る等実行。80%の率で実施できてました。	○	今後も実施する
		○社内用書類等のコピー用紙の裏紙使用の徹底。	印刷の際にいるものだけプリントアウトしました。	○	継続的に実施する
		○消耗品等不必要な購入を避ける。	徹底して実施できました。	○	継続的に実施する
	産業廃棄物	○マニフェスト管理を徹底し、産業廃棄物を分別する。	徹底して管理できました。	○	継続的に実施する
グリーン購入		○排出量の抑制と適正処理及びリサイクル促進。	徹底して処理できていました。	○	継続的に実施する
		○事務用品・資材購入時のエコ製品選定。	購入の際には優先して実行	○	これからも実行していく
環境負荷の少ない工事		○家電製品・車両重機購入時のエコ製品選定。	実施できました。	○	これからも実行していく
		○工事現場周辺の生態系維持。	工事周辺の生態系維持に対して気を付けて作業した。	○	今後も実施する
		○工期短縮に心掛ける。	環境負荷に気を付けながら工期短縮を実施しました。	○	今後も実施する
環境美化活動		○低騒音・排出ガス対策重機使用。	全工事に対して低騒音・排出ガス対策型重機を使用した。	○	改善して実行する
		○ロードボランティアの実施回数を増やす。	計画どおりに実行できました。	○	今後も実施する

具体的な取組状況

1. CO₂ 排出量削減

(1) 燃料使用量削減



排出ガス対策型重機使用

全工事に排出ガス対策型重機使用を徹底。



低騒音・排出型ステッカーのある重機・機材を使用。



重機・ダンプエコモード運転の徹底

2023年 5月に全ての重機・ダンプに「エコモード運転の徹底」のシールを更新貼付、燃料使用量削減の啓発を行っています。

ドライバーには安全運転に心掛けて走行するように声掛けをする。

(2) 電力使用量削減



本社事務所

事務所のPCや照明等は不在の時は必ず消すこと。



昼休みの消灯

本社事務所の照明を昼休み（１２時～１３時）消灯し、節電に努めています。

晴れていて、照明不要な日は照明は使用しない。



本社事務所南側に緑のカーテン設置

本社事務所南側に緑のカーテンを設置し、冷房負荷の削減、環境美化活動に努めています。

３．廃棄物の削減

（１）一般廃棄物の削減



コピー用紙の裏紙使用、両面コピー

ミスコピー用紙は、裏紙として使用し、また両面コピー実施徹底。



受信したFAXはプリント前に確認

受信したFAXは、画面で確認し、必要な物だけ出す。



封筒等は再利用

社内書類ファイル閉じとして
送られてきたDM等の封筒を再利用しました。

(2) 産業廃棄物



産業廃棄物分別の徹底

(分別置場：2017年 10月設置)

産業廃棄物は分別し、有価物と廃棄物に分別し。ゴミを持ち帰る等産業廃棄物再資源化率が向上するように自社では努力しています。

4. グリーン購入



事務用品のエコマーク・グリーンマーク商品の優先購入

事務用品はエコマーク・グリーンマークの付いた商品を優先的に購入しています。

対象商品：コピー用紙、ファイル類、ノート類
ボールペン、シャープペン等

5. 環境負荷の少ない工事



低騒音、排出ガス対策型重機の使用

工事名称:土木一式工事

工事期間:2023年9月28日 ~2024年3月17日

工事場所:高知県幡多郡大月町添ノ川

低騒音、排出ガス対策型重機を工事で使用しました。

工事箇所周辺の騒音低減と、排出ガス量削減に努めています。



環境負荷の少ない材料（リサイクル材）の使用

工事名称:土木一式工事

工事期間:2023年5月1日 ~2024年4月30日

工事場所:高知県高知県幡多郡大月町弘見

型枠等、リサイクル材の使用し施工しました。



工事看板への高知県産間伐材の使用

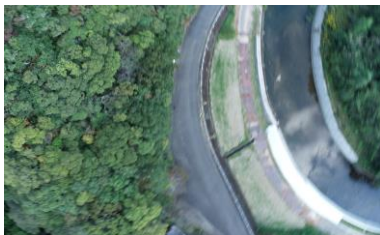
工事名称:土木一式工事

工事期間:2023年9月28日 ~2024年3月17日

工事場所:高知県幡多郡大月町

工事看板には、高知県産間伐材を使用し、環境負荷低減に努めました。

6. ICT機器を導入した施工実施



ICT機器導入した施工
工期短縮、人件費削減、環境に
負荷の無い施工を実施しています。



ドローン等の操作指導等で
社内教育等を実施し
施工しています。

7. 環境美化活動



ロードボランティア活動
弘見周辺及び国道 321号線のロードボランティア
活動を行い、道路の清掃活動を行いました。
(年10回実施)



10. 次年度の取組内容

(1) 環境経営目標

(1) 単年度目標 (2024年度)

項目	総量・原単位	単位	基準年 2019年度 2019.5-2020.4	2024年度 目標 2024.5-2025.4	基準年に対して (削減率)
売上高		百万円	225	245	
燃料使用量					
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	5,459.8	4,094.9	25(%)
	原単位	(ℓ/百万円)	24.3	16.7	
軽油使用量	総量	(ℓ)	42,250.7	31,688.0	25(%)
	原単位	(ℓ/百万円)	187.8	129.3	
電力使用量	総量	(kWh)	2,204.0	1,873.4	15(%)
	原単位	(kWh/百万円)	9.8	7.6	
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	121,674.6	103,423.4	15(%)
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	540.8	422.1	
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	336.0	252.0	25(%)
	原単位	(kg/百万円)	1.493	1.03	
産業廃棄物排出量	総量	(t)	548.6	411.5	25(%)
	原単位	(t/百万円)	2.4	1.7	
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100	
グリーン購入	総量	(%)	90	90	
環境負荷の少ない工事	総量	(件)	30件/30件	全件	
環境美化活動	総量	(回)	5	10	

- * 1. 電力のCO₂排出係数は平成30年12月27日公表のイーレックス・スパーク・マーケティング(株)の調整後排出係数0.460 (kg-CO₂ / kWh) を使用した。
- * 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合 (%)
- * 3. 環境負荷の少ない工事
 - 環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用
 - 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
 - 型枠、工事看板への間伐材の使用
 - 濁水防止対策の実施

10・次年度の取組内容

(2) 環境経営計画

期間： 2024年 5月 ～ 2025年 4月

	活動内容	担当者	期間
燃料使用量 削減	○急発進・急停止しないよう安全に走行する。	松田 将臣	2025年4月30日
	○現場には相乗りで行くこと。	松田 将臣	2025年4月30日
	○車両・重機の定期的な点検の徹底。	松田 将臣	2025年4月30日
電力使用量 削減	○使用中以外電源OFF活動。	松田 真由子	2025年4月30日
	○退出時のPCの電源は必ずOFFにする。	松田 真由子	2025年4月30日
	○事務所内エアコンフィルター定期清掃。	松田 真由子	2025年4月30日
	○エアコンEcoモードの実施。	松田 真由子	2025年4月30日
一般廃棄物	○社内用書類等裏紙使用実施。	松田 真由子	2025年4月30日
	○FAXは、必要なものだけ印刷徹底する。	松田 真由子	2025年4月30日
	○再利用できる用品を使用。	松田 真由子	2025年4月30日
産業廃棄物	○産業廃棄物委託契約、マニフェスト管理を徹底する。	松田 将臣	2025年4月30日
	○産業廃棄物の分別徹底。	松田 将臣	2025年4月30日
グリーン購入	○事務用品等のグリーン購入徹底。	松田 真由子	2025年4月30日
	○必要な物だけを購入する。	松田 真由子	2025年4月30日
	○包装は無いものを最優先し、容器は再利用できるものを選ぶ。	松田 真由子	2025年4月30日
環境負荷の少ない工事	○環境負荷の少ない低騒音・排出ガス対策型重機使用。	松田 将臣	2025年4月30日
	○工期短縮に心掛ける。	松田 将臣	2025年4月30日
	○工事現場周辺の生態系維持。	松田 将臣	2025年4月30日
	○型枠、工事看板への間伐材使用。	松田 将臣	2025年4月30日
環境美化活動	○ロードボランティア・現場、会社周辺の清掃。	松田 将臣	2025年4月30日

1 1 . 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄の処理及び清掃に関する法律	第 3 条	○事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	松田 将臣	遵守	2024年4月30日
	第 7 条の 1 3 項	○一般廃棄物収集運搬基準に従った収集運搬表示、書面備付義務	必要時	松田 将臣	遵守	2024年4月30日
	第 1 2 条	○産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	松田 将臣	遵守	2024年4月30日
	第 1 2 条の三	○産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	松田 高征	遵守	2024年4月30日
	第 1 2 条の三 7 項	○マニフェスト交付状況報告書の作成及び 都道府県知事（高知県知事）への提出	年 1 回 毎年 6 月末	松田 真由子	遵守	2024年4月30日
	第 1 2 条の 1 0、1 1 項	○多量排出事業者（年間 1、0 0 0 t 以上） の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	松田 真由子	遵守	2024年4月30日
	第 1 4 条	○産業廃棄物収集運搬業の都道府県知事の許可 （5 年毎に更新）	期限切れ 3 ヶ月前			
	第 1 4 条の一 1 2 項	○産業廃棄物処理基準による収集運搬、処分		松田 真由子	遵守	2024年4月30日
	規則第 8 条	○保管場所の表示 見やすい箇所に掲示板を設置 （縦 6 0 c m 以上×横 6 0 c m 以上）	必要時	松田 真由子	遵守	2024年4月30日
資源の有効な利用の促進に関する法律 （資源有効利用促進法）	第 4 条	○土砂、コンクリート塊、アスファルト・コン クリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	松田 将臣	遵守	2024年4月30日
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第 5 条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び 建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建 設資材を使用する努力	必要時	松田 将臣	遵守	2024年4月30日
	第 9 条 第 1 0 条	○分別解体等の実施 解体：床面積 8 0 m2 以上 新築・増築：床面積 5 0 0 m2 以上 ○対象建設工事は 7 日前までに都道府県知事 に届出	必要時	松田 将臣	遵守	2024年4月30日
騒音規制法	第 5 条	○騒音規制基準の遵守（特定工場等）	必要時	松田 将臣	遵守	2024年4月30日
	第 1 4 条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始 7 日前までに市町村長に届出）	必要時			
振動規制法	第 5 条	○振動規制基準の遵守	必要時			
	第 1 4 条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始 7 日前までに市町村長に届出）	必要時	松田 将臣	遵守	2024年4月30日
消防法	第 1 4 条	○少量危険物タンク（ミニローリー）年次点検 （3 年間の記録保管）	年に 1 回			
	第 3 1 条	○移動タンクに 0. 3 m3、黒字に黄色の「危」標識 危険物の類、品名及び最大数量を表示した標識	必要時			
	第 4 6 条	○少量危険物貯蔵又は取り扱い開始届の提出		松田 将臣	遵守	2024年4月30日
フロン排出抑制法	第 1 6 条	○重機の簡易点検の実施と記録の保管 フロン類漏えいへの対応（漏えい箇所修理） 廃棄時、フロン類引き渡し完了後、3 年間記録保存	3 ヶ月に 1 回以上	松田 将臣	○	2024年4月30日
大気汚染防止法 （解体工事）	第 1 8 条 の 1 7	解体工事受注者は、石綿使用の有無について 事前に調査し、発注者へ調査結果を書面で 説明するとともに、その結果等を解体等工事場所 へ掲示	必要時	松田 将臣	遵守	2024年4月30日
浄化槽法	第 1 0 条	○年 1 回の浄化槽の保守点検、清掃実施	年 1 回			
	第 1 1 条	○年 1 回の水質検査実施		松田 将臣	遵守	2024年4月30日
高知県環境基本条例	第 6 条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	松田 将臣	遵守	2024年4月30日
高知県清流保全条例	第 2 条	○事業者の清流保全の努力	必要時	松田 将臣	遵守	2024年4月30日
大月町 産業廃棄物及び清掃に関する条例	第 2 条、第 4 条 第 5 条	○ごみの適正処理を実行する	必要時	松田 将臣	遵守	2024年4月30日
幡多西部消防組合火災予防条例	第 3 1 条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 （指定数量の 1 ／ 5 以上指定数量未満の 危険物貯蔵）	必要時	松田 将臣	遵守	2024年4月30日

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2 0 2 3 年 5 月より 2 0 2 4 年 4 月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。



12. 代表者による全体評価と見直し・指示

■定期見直し
□臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取組状況の評価結果】				【環境経営方針】	
①環境関連法規制等の遵守状況 2023年5月より2024年4月まで環境関連法規等の違反、告発及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。				変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無	
②問題点の是正処置及び予防処置の状況 2023年5月より2024年4月までの間、是正処置及び予防処置となるものはありませんでした。				2018年10月に見直しを行っており、問題がないのでこれを継続する。	
③前回までの代表者の指示事項への対応 なし					
<改善提案>				【環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制】	
				変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無	
【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】				環境経営目標・環境経営計画は毎年見直しを行っているので問題はない。	
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)	組織体制についても問題はない。	
CO ₂ 排出量	×	○	社内ステッカーを貼り啓発できた。		
電力使用量	×	○	これからも継続してください。		
一般廃棄物	○	○	これからも継続してください。		
産業廃棄物	○	○	これからも適正処理を行ってください。		
グリーン購入率	○	○	これからも継続してください。		
				【その他】	
<改善提案> 古くなった機器等（エコ対応）は最新のものに入れ替えが必要。				変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無	
				エコアクション21はシステムとして有効に機能している。	
【周囲の変化の状況】				【総括】 （環境経営レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載）	
①外部コミュニケーション記録より 環境レポートを誰でも見えるように提示しています。 外部からの苦情・要望等はありませんでした。				今年度はICT機器導入した施工を実施し、社内教育等実施 それにより人員が少なくても測量ができ 工期短縮になり、施工管理がスムーズに実施できるように これからも社内教育等を実施しながら施工に取り組みましょう。	
②環境関連法規制等の動向他 特になし。					
<改善提案>					
代表者が自ら得た情報					
令和5年9月 最新の軽トラ購入					
令和5年9月 コピー機購入					
令和6年2月 移動タンク貯蔵所（エムケーローリ）購入					